

科目名称	人体の構造と機能Ⅰ（人体の成り立ち）	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	西川 裕喜	授業に関わる 実務経験	☒ 有（ 医師 ） ☐ 無	

【1】 授業概要

専門基礎分野、解剖生理学の入門部分に相当し、人体の構成および組織学と細胞学の総論的な内容を学ぶ。
栄養学・薬理学とも関連する化学の簡単な内容も含む。

【2】 学習目標

1. 11の器官系の概要を説明できる。
2. 人体の方向を解剖学用語で表現できる。
3. 水素結合、イオン結合、共有結合の違いを説明できる。
4. pHの重要性を理解し、細胞内小器官の役割を説明できる。
5. 人体を構成する組織について一般的な分類ができる。
6. 生化学、分子生物学の基本的知識が理解できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	人体の基本的構成要素とその役割①	講義
2	人体の基本的構成要素とその役割②	講義
3	解剖学用語と栄養学や薬理学に必要な化学の基礎①	講義
4	解剖学用語と栄養学や薬理学に必要な化学の基礎②	講義
5	人体の構成と栄養素となる物質を構成する元素原子、化学結合、体液の恒常性に要するpHについて①	講義
6	人体の構成と栄養素となる物質を構成する元素原子、化学結合、体液の恒常性に要するpHについて②	講義
7	人体を構成する物質（糖、脂質、タンパク質、核酸）について①	講義
8	人体を構成する物質（糖、脂質、タンパク質、核酸）について②	講義
9	細胞の構造と働き①	講義
10	細胞の構造と働き②	講義
11	細胞と組織学、上皮組織とガンの関係①	講義
12	細胞と組織学、上皮組織とガンの関係②	講義
13	各組織と臓器の構成（結合組織、筋組織、神経組織）について①	講義
14	各組織と臓器の構成（結合組織、筋組織、神経組織）について②	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験（多肢選択式と記述式の組み合わせ）、学習への取り組みで総合的に評価を行う。

【6】 教科書

・トートラ 人体解剖整理学 原書10版

【7】 参考書

・なし

【8】 受講生へのメッセージ

人体の成り立ちと疾患との関わりを重視した授業を行います。毎回小テスト（小テストは最終評価に反映しない）を行い次の講義で復習します。